

# 消防おくら

阿部六陽筆

## 災害情報

火災 5件  
救急 333件  
救助 79件

※令和6年9月30日現在



## 奥多摩建設業協会との連携訓練

監修 奥多摩消防署

発行 奥多摩防火防災協会

電話 0428(83)2299

# 秋の火災予防運動

令和6年11月9日(土)から11月15日(金)まで



東京消防庁

町民の皆様、防火防災に関する意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

令和6年度東京消防庁火災予防標語  
 目で確認 声出し確認 火の用心  
いわさき くるみ  
 作者 岩崎 公瑠美さん (清瀬市在学)

## 住宅火災に注意しましょう！

令和5年中の火災による死者は86人(前年より3人減少)で、そのうち65歳以上の高齢者は58人でした。

死者が発生した火災の主な出火原因は、「たばこ、ストーブ、こんろ」です。

火災から大切な命と住まいを守るため、日頃からしっかりと備えましょう！



### たばこによる火災を防ぐには

- 寝たばこは絶対にしない。
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する。
- 吸殻を灰皿にためない。吸殻は水で完全に消してから捨てる。
- 飲酒をしながらの喫煙・うたた寝に注意しましょう！

### ストーブによる火災を防ぐには

- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない。
- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- 給油は必ず消してから行う。
- 外出時や就寝時は必ず消す。

### こんろによる火災を防ぐには

- 調理中に離れない。
- 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する。
- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- 火が鍋底からはみ出さないよう調節する。
- 安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する。

# 11月9日は119番の日です！

令和5年中の119番通報は、**1,102,956件**にのぼり、統計を開始した平成26年以降、過去最多を記録しました。119番通報の約6割は携帯電話からでした。携帯電話は通報者がいる場所を特定しにくいいため、落ち着いて正確に場所を伝えることが大切です。



## 火災の場合に伝えること

### ■消防車が向かう正確な住所

例：奥多摩町〇〇〇△△△番◇◇◇号

### ■何が燃えているか

例：台所で鍋が燃えています。

## 救急の場合に伝えること

### ■救急車が向かう正確な住所

例：奥多摩町〇〇〇△△△番◇◇◇号

### ■誰がどんな症状・容体か

例：〇〇さんが突然倒れて意識がありません。

### ■通報した人の連絡先

救急隊から折り返しの電話をかける場合があります。

# 応急手当のアドバイス「Live119」

スマートフォンでの119番通報時、現場の映像を東京消防庁職員とリアルタイムに共有することができるシステムです。

現場をスマートフォンで撮影することで、状況を的確に職員へ伝えることができ、状況に合わせたアドバイスが受けられます。

通報者は、東京消防庁からスマートフォンに送られてくるショートメールにアクセスするだけで、簡単に映像を共有することができます。※事前登録は必要ありません。



# 救急車を呼ぶか、病院へ行くか迷ったら「救急受診ガイド」を活用しましょう

病院やけがの緊急度、医療機関での受診の必要性、受診する科目などを確認できます。東京消防庁のホームページや公式アプリからご利用できます。



受診ガイド



公式アプリ

## 消防活動審査会で消防総監賞を受賞しました！

令和6年6月14日に第九消防方面（八王子、青梅、町田、日野、福生、多摩、秋川、奥多摩）の各消防署が参加して行われた消防活動審査会において、奥多摩消防署1部ポンプ隊が消防総監賞を受賞しました。

これからも、火災が発生した際、円滑な消火活動により、被害を最小限に抑えることができるよう、訓練を継続してまいります。



## 奥多摩消防少年団 団員募集中！

奥多摩消防少年団は、災害への知識・技術を身につけ、礼儀正しい団体行動や社会に役立つ活動を通して、思いやりの心を持った将来の地域の防災リーダーとなれるよう、日々の活動に取り組んでいます。



団員は奥多摩町在住の小・中学生で、活動は月に1回程度です。

基本的な規律・防災訓練のほか、キャンプや防災施設に見学へ行き、防災意識を深めています。

1回だけの体験でも大歓迎です。奥多摩消防署防災救急係（0428-83-2299）までお気軽にお問い合わせください。お待ちしております！



出初式



キャンプ



社会奉仕活動



入卒団式